



建築物総合環境計画概要書 新築

■使用評価マニュアル:「CASBEE大阪みらい 新築」2018年版 (v.1.2.1) ■使用評価ソフト:「CASBEE大阪みらい 新築」2018年版 (v.1.2.1)

1-1 建物概要		1-2 外観
建物名称	(仮称)大阪市淀川区加島3丁目物流施設計画	
建設地	淀川区加島3丁目	
建築用途	倉庫業を営む倉庫	
建築主	SGリアルティ(株)、三井不動産(株)	
設計者	日鉄エンジニアリング(株)	
敷地面積	94,301.67 m ²	
建築面積	36,192.49 m ²	
延床面積	210,188.83 m ²	
構造/階数	S造 / 地上6階	
完了年(予定)	2027年 9月	

2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)	2-2 ライフサイクルCO ₂ (温暖化影響チャート)	2-3 大項目の評価(レーダーチャート)
<p>S BEE=4.9</p> <p>S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★ C: ★</p>	<p>★☆☆☆☆ 30% ☆☆☆☆☆ 60% ☆☆☆☆☆ 80% ☆☆☆☆☆ 100% ☆☆☆☆☆ 100%超: ☆</p> <p>標準計算</p> <p>①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+</p> <p>このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO2排出量の目安で示したものです</p>	<p>ラベル表示 有</p>

2-4 中項目の評価(バーチャート)		
Q 環境品質		
Q1 室内環境 Q1のスコア= 0.0	Q2 サービス性能 Q2のスコア= 4.5	Q3 室外環境(敷地内) Q3のスコア= 4.7
LR 環境負荷低減性		
LR1 エネルギー LR1のスコア= 4.2	LR2 資源・マテリアル LR2のスコア= 4.6	LR3 敷地外環境 LR3のスコア=3.9

3 設計上の配慮事項		
総合 複数テナントが入居する大型物流施設として、高天井、各階パース等の汎用性と機能効率性を確保し、免震構造、冠水対策、発電機設置等のBCP対策を行い、ラウンジ、売店等利用者の快適性にも配慮した施設とする。		
Q1 室内環境 用途が倉庫のため、評価対象外とする。	Q2 サービス性能 階高大、床積載荷重大により拡張性に配慮。倉庫内装仕上無しにより内装仕上材の更新間隔を長期化。ダクト、給排水配管の高耐久性材料採用により更新間隔を長期化。免震構造、冠水対策、発電機設置等によりBCPに配慮。	Q3 室外環境(敷地内) 緑化は外来種排除、自生種、神崎川デルタ一部復元。ベンチ、植物名板、音声説明により自然に親しめるよう工夫。建物後退と緑地配置により東側住宅への圧迫感軽減と環境確保。緑地や空地により敷地内温熱環境に配慮。
LR1 エネルギー 高効率の照明、空調機を採用。中央監視装置により主要な用途別エネルギー消費量を把握し分析可能。運用管理組織、体制、管理方針を定めエネルギー消費量の目標値を計画可能。全熱交換器によるナイトパージを採用。	LR2 資源・マテリアル 節水型衛生機器や雨水利用システムを採用。免震構造や高強度材料で使用材料低減。躯体と内装の分離容易化で更新時の部材解体を極小化。発生土や製鋼スラグの地盤改良利用、杭汚泥自ら利用等リサイクル材を積極採用。	LR3 敷地外環境 各種熱源の燃焼機器不採用により大気汚染防止。中高木による地表面被覆、隣棟間距離確保による通風確保で温熱環境改善。駐車・駐輪場の確保、車両出入口の適切配置で周辺交通負荷を抑制。廃棄物量を推計し減容化。

建築物環境性能表示 結果〔重点評価〕

総合評価BEE = 4.9

ラベル表示



環境性能		評価点
(1)CO2削減		4.0
CO2削減に配慮した環境性能		概要記入欄
LR3/ 1 / /	地球温暖化への配慮	4.1
配慮事項	LED照明や高効率空調機を採用し、運用時のCO2排出量の削減を行った。	

環境性能		評価点
(2)みどり・ヒートアイランド対策		4.0
みどり・ヒートアイランド対策に配慮した環境性能		概要記入欄
Q3 / 1 / /	生物環境の保全と創出	5.0
Q3 / 3 /3. 2/	敷地内温熱環境の向上	3.0
LR3/ 2 /2. 2/	温熱環境悪化の改善	4.0
配慮事項	みどり・ヒートアイランド対策に配慮して建物配置ならびに外構計画を行った。	

環境性能		評価点
(3)建物の断熱性		0.0
CO2削減に配慮した環境性能		概要記入欄
LR1/ 1 / /	建物の熱負荷抑制	0.0
配慮事項	対象外	

環境性能		評価点
(4)エネルギー削減		5.0
CO2削減に配慮した環境性能		概要記入欄
LR1/ 3 / /	設備システムの高効率化	5.0
配慮事項	BEIm =0.43	

省エネルギー基準計算結果

基準適合状況	適合
--------	----

※ 外皮性能については、住宅部分が等級4(相当)以上、非住宅部分が1.0以下であること
※ 一次エネルギー消費量については、建物全体のBEI、BEImが1.0以下であること(新築時)
(基準適合義務がある部分については、その部分のBEI、BEImが1.0以下であること)

外皮性能	住宅部分 (品確法等級)	非住宅部分[BPI][BPI _m]
	対象外 (相当)	対象外
一次エネルギー消費量	建物全体[BEI][BEIm]	住宅部分[BEI]
	0.42	-
		非住宅部分[BEI][BEIm]
		0.42